

平成5年
4月25日
第1365号

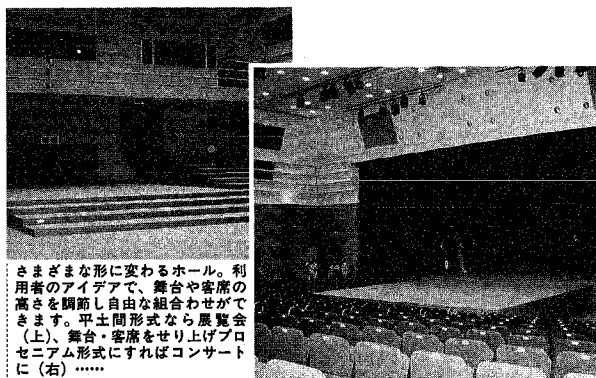
にいがた



人口 480,692人 (-127)
男 233,129人 (-94)
女 247,563人 (-33)
世帯数 168,422 (-103)
住民基本台帳による。()は前月比

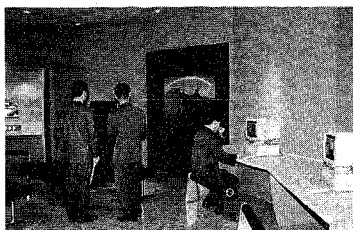
発行日 毎週日曜日 発行新潟市 〒951 編集 総務部広報課
学校町通1-602-1 印刷 輪第一印刷所

文化・情報の発信基地に 新潟市民プラザいよいよオープン



新潟市民プラザが入るNEXT21ビル(ネクスト)21ビルの完工式が今月十五日に行われ、来月二日、いよいよオープンします。同プラザは、多用用途イベントホールと情報ラウンジからなり、文化活動の発表の場として、情報の発信基地として大いに期待されます。

5月2日は憲法記念日市民のつどいへ
市では、憲法記念日を迎えるに当たり、私たちの生活に深く関わりを持った憲法について考えてもらう



情報ラウンジでは、新潟の歴史など四十巻のビデオを自由に観ることができ、ほか、施設や観光案内などの市政情報を検索できるパソコン端末や、ハイビジョンシステムも設置



日本海側で一番の高さを誇るNEXT21ビル(山)と8階まで吹き抜けるアトリウム

同プラザのホール利用申込は利用日の一年前から受け付けます。問い合わせ 四月三十日までは文化振興課(内線2165番)、五月一日からは同プラザ(☎22661550)



両市の友好がさらに深まればと、堅い握手を交わすプツフ代表と長谷川市長

ウラジオストク線就航 代表団が市長を訪問

新潟空港の四番目の国際定期航空路・ウラジオストク線が今月から就航し、先日、同線で来港したプツフ・ロシア大統領府沿海地方代表とロウイヨフ・ウラジオストク市議会議長が長谷川市長を表敬訪問し友好を深めました。席上、長谷川市長は「姉妹都市提携の効果で、定期航空路がこんなに早く開設できて大変うれし。両市のきずながさらに太くなり友好が深まれば」と語り「ウラジオストクと新潟

の関係はロシアにとって重要。新潟は、日本海側の窓口として高い拠点性と将来性を持っている。世界へのかけ橋となる航空路が開設できるとに感謝する」と述べました。

5月3日 「月・水・金」地区で 普通ごみを特別収集

五月三日は、祝日で通常のごみ収集は休みとなりますが、普通ごみの収集が「月・水・金」の地区のみ特別収集を行います。ただし、分別や粗大ごみは絶対に出さないでください。また、ごみの種類、ごみ出し日時については、新しく「万代ル1線 東・西地区に相談窓口を開設」

市役所・市教育委員会 ☎228-1000 (代表)
野球場 テニスコートの申し込み...266-8111
園芸センター...286-1034
保健所...243-6311
石山地区保健センター...286-4450
鳥屋野地区保健センター...286-2373
北地区保健センター...259-7332
西保健所...268-5171
西地区保健センター...262-3406
坂井輪地区保健センター...260-3255
急患診療(市医師会・県歯科医師会)
急患診療センター...228-2822
休日歯科診療センター...283-3030

急患診療
◎内科・小児科
日曜 祝日午前9時～午後11時半
平日 土曜日午後7時～11時半
市医師会急患診療センター
白山2-180-5
※ほかの診療科も紹介
☎228-2822
◎歯科
日曜 祝日午前10時～午後5時
県歯科医師会休日
歯科診療センター
堀之内南3-8-13
☎283-3030
保険証を忘れずに

常設展「心象の世界—幻想と象徴」から 今週の一点⑤



北久美子(きたくみこ)「夢想の遊楽園」一九一九
※同作品は6月6日まで同館で展示中

一九四五年、大阪府に生まれた北久美子さんは九〇年に、図鑑の表現による植物と鳥類の楽園を描いた作品で、安井賞を受賞しました。彼女は写真の作品でも、空想の中に登場する鳥類をモチーフに、広大なパノラマを織りだしています。そして、背後に広がる限りなく深い青い空が、私たちに空虚を感じさせ、恐怖感さえよび起こします。彼女は、けんそくに満ちた現代社会を永遠の静寂へと回帰させようとしているのでしょうか。(市美術館)